

SHIENアカデミーPress

Vol.11 SHIEN学アドバイザーが続々と誕生しています！

INDEX

- ・ 代表理事からのメッセージ 不確定な時代の答えを導く……P1
- ・ SHIEN学と組織活性化 小林 三輝也（SHIEN学アドバイザー）……P2
- ・ 自己変容 藤井 勲（SHIEN学アドバイザー）……P3
- ・ SHIENアカデミーの活動報告（5月：札幌、東京）……P4
- ・ SHIENアカデミー 講座、天分発見ワークショップのご案内ほか……P5

不確定な時代の答えを導く

SHIENアカデミー代表理事 たておかやすを

SHIEN学では、現在の世の中がパラダイムシフトしており、リザルト（結果）を重視するリザルトパラダイムから、一緒に重なりを創って、新たな解を生み出し続ける過程を重視するプロセスパラダイムに移行していると唱道しています。このことを情報という視点からみると、『利他性の経済学』に書いたように、リザルトパラダイムのときは、ゆったりとした動きと狭い範囲の中で、情報を判断する価値が一様で意味が特定され、きっちりとした答えを導くことができ、確定されていれば、いほど好まれており、正しかったといえます。ところが、いまや空間的には広がり（多様な価値と異なる経路依存性に晒される）、時間的に極度に変化が激しくなり、情報の意味や解釈が動きだすため、曖昧な不確定な情報を交換しながら、新たな価値をステークホルダーと一緒に生み出すことが必須となってきました。たとえば、生きるということも昔は、大体同じ意味と解釈でよかったのですが、いまやグローバル化の波に晒され、富める人々のそれと、貧しい国の子供たちでは、生の意味が正反対でせめぎあってしまっています。

実は、リザルトパラダイムの確定情報の世界では、AIに人類はすべて負けると考えています。つまり、このたびの21世紀の情報や知の革命ということは、人類が不確定な情報を不確定なままで交換して、つまり自分の価値を少し手放したり、互いにエンパシーを発揮したりして思い遣りを発揮しながら新たな答えにジャンプする（第三スペース）にいくことを学べるかが問われているのです。その最先端の科学がSHIEN学といえましょう。



Photo by Yasuo



SHIEN学と組織活性化

小林 三輝也 SHIEN学アドバイザー

SHIEN学との出会いは2009年7月の山城経営研究所主催の実践経営大学講座です。「させる能力」から「してもらい能力」へ —21世紀型実践経営のエッセンス— というテーマで、初めてSHIEN学を知りました。

2008年に「不機嫌な職場～なぜ社員同士で協力できないのか」という本が出版され、日本の企業の職場が内向きになりメンタルになる社員が増え、社会問題になっていた頃です。自分自身、会社自体の業績が悪化し、組織再編、人員整理の荒波に揉まれ、会社の行く末を案じ、悶々としていた時です。

実践経営大学講座で初めて知ったSHIEN学は、参加者の主体性を問う内容が多くありました。最初に館岡先生から発せられた言葉は「あなたは、この会場に来るまでに誰に支援をしてあげましたか？」という問いでした。改めて支援したかと問われて、自分が他者に支援されたことは思い出されたが、支援してあげたことは思い出せませんでした。

支援していない自分に対し、今、自分の組織で起きている「不機嫌な職場」が重なり、このままでは、会社は益々悪化して、自分自身も会社に行きたくなくなるのではないかと危惧するようになりました。正直、当時、自分自身、毎週月曜日の朝に会社に行くときが辛かった記憶があります。

なぜ、会社、職場はそうなってしまったのか、悩み、悶々としていた時に館岡先生が書かれた「利他性の経済学」を読み、お互いに重なりをつくり、させるさせられる関係からしてあげるしてもらい関係になることの重要性を職場で感じるようになりました。

そして2010年に社内の大きな組織変更があった時に自ら職場の人材育成プロジェクトを立ち上げ、自分たちで新しいミッション、ビジョンを決めて、そのミッション、ビジョンの実現に向けて、参加した人たちが自ら立ち上がる本格的な組織風土改革を押し進めました。

150名程度のエンジニアリング部隊として、自分たちの進むべき道を〇〇〇WAYと名付け、お互いの重なりを作り、お互いに関心を持ち、お互いにしてあげるしてもらい関係が自然にできるようになりました。その結果、職場の雰囲気良くなり、いい風土が出来るようになったことはSHIEN学を学んだことによる大きな成果でした。

しかしまだまだ、今の職場も十分機嫌のよい職場にはなっていないし、SHIEN学を必要としている職場も数多くあります。SHIENアドバイザーとして、SHIEN学の実践者として本当に何ができるか、まだ模索している最中ではありますが、少なくとも、まだまだ多くの企業、組織で「不機嫌な職場」がある限り、多くの方が幸せになれる職場を目指して活動していきたいと思います。



自己変容

藤井 勲 SHIEN学アドバイザー



「設計が悪くて評価ができません」「人を補充してくれないと納期に間に合いません」「会社は残業するなって言うし、、、」。あちらこちらから聞こえてくる現場の声です。

機械設計者として30年経ち、自分史を振り返ってみました。北海道の田舎の漁師町で育った私は、80年代のバイクブームに後押しされ、地元の高専に進みました。同級生とバイク談義に花を咲かせ、理論を授業で習い、自分で乗ってみて感じることで研鑽できました。

卒業後、自動車会社に勤務し、先輩に機械設計の基礎を叩き込まれたことをいまでも覚えています。9年ほど勤めた後、二輪車開発への思いを断ち切れず、転職を決意しました。二輪車は華々しいレースの世界から新興国での生活の足として使われるものまで様々な要求があります。海外での使われ方を自分の目で見て、設計に落とし込み、お客様の要求に答えることが最優先されていました。

新しい国でのものづくりは今までのように計画を立てて、決められたことを決められたように実施しているだけでは要求に答えるだけでなく、開発納期さえも守ることも危うくなりました。すると隠れていた問題が表面化します。時間外労働の増加、メンタル不調者の増加、会話のないメールでのやり取り、先行投資の不履行など。それらは表面的な関係になったり、意図した情報

が伝わらなかつたり現場の雰囲気が悪くなることにつながります。

40歳を過ぎたことから部門を毎年のように異動することが増えました。そこで見てきたのが、職場の雰囲気や人の関係性と労働生産性は非常に関連が高いということでした。ある部門の課題として、課長と部下が朝から建設的ではない口論をしていること、言いたいことが言えず社員満足度が異常に低いこと、それに対して関心が低いことです。管理職を含むリーダーの意識を変えることから取り組み、感謝の言葉をノートにつづること、業務の状態を見える化し情報を共有すること、目標を一緒に立ち上げることなど行いました。

結果として社員満足度が向上、一部のグループでは社内でもTOP3に入るまで向上し、生産性も高まりました。昨年この部門にSHIEN学を取り入れ「してあげる、してもらう」の公理と実践を繰り返し行っています。冒頭に書かれた言葉が出ることは少なくなり、自分たちで考えて動ける組織に変容していったのではないかと感じております。

一緒に立ち上げてくれた管理職の一人に感謝しています。自己中心的な典型的なりザパラ上司だった私が、部門を異動するたびに心の奥にあった利他性に気づき、SHIEN学との出会いが自己変容に導いてくれたのではないかと思います。



アカデミーの活動レポート

2017年1～5月にかけてのアカデミーの主要な活動を報告します。

From TOKYO

一般公開セッション

「そろそろ自分に嘘をついて働くの、やめませんか。」開催しました。

「日本一楽しく働く男」山田修司氏を迎え、CS(お客様満足)とSHIEN学を関連付けた初のフォーラムを開催しました。金曜日の夜の濃密で楽しい3時間半でした。



SHIENカフェ@札幌&ときどき静岡

北海道キャンパスを中心に
毎月1回SHIENカフェを開催しています。
スカイプ経由で全国からご参加いただけます。
ときどき静岡会場もオープン。
ご来場お待ちしております。
SHIENカフェの日程は事務局までお尋ねください。



SHIENアカデミー 講座のご案内

SHIEN学をさまざまなスタイルで学び、活躍していただくために、これまでの「ファシリテーション(アドバイザー・マスター)コース」に加え、「実践者コース」「シンポジウムコース」を新設しました。各コースは次のような内容です。

コース名	内容	コース構成	開催日
ファシリテーションコース	有償でSHIEN学の講演、ワークショップを実施したい人向け。SHIEN学アドバイザー、SHIEN学マスターの資格取得ができます。	基礎編、応用編、実践編	年6回予定 (関東・北海道)
実践者コース	SHIEN学を自分の生活に取り入れて実践し、生活の質を上げたい人向け。有償講演等はできませんが、SHIEN学をより深めたい方に最適なコースです。	基礎編、応用編	年6回予定 (関東・北海道)
シンポジウムコース	二人以上のコース修了者で有償・無償のSHIEN学に関わるイベント開催が可能です。イベント実施にあたってのシナリオをアカデミーよりご提供します。	基礎編、応用編、実践編	年6回予定 (関東・北海道)

●2017年度の開催日程

日程	地域	開催講座	会場	申込
5月20日 (土)	関東	アドバイザー 実践者 シンポジウム	寺家ふるさと村 四季の家 横浜市青葉区寺家町414	終了
5月27日 (土)	北海道	アドバイザー 実践者 シンポジウム	札幌 Café tone 札幌市北区北23条西10丁目1-6 (北大斜め通り・東向き)	終了
8月26日 (土)	北海道	アドバイザー 実践者 シンポジウム	札幌 Café tone 札幌市北区北23条西10丁目1-6 (北大斜め通り・東向き)	受付中
9月2日 (土)	関東	アドバイザー 実践者 シンポジウム	寺家ふるさと村 四季の家 横浜市青葉区寺家町414	受付中
12月16日 (土)	北海道	アドバイザー 実践者 シンポジウム	札幌 Café tone 札幌市北区北23条西10丁目1-6 (北大斜め通り・東向き)	準備中
2018年 1月13日 (土)	関東	アドバイザー 実践者 シンポジウム	寺家ふるさと村 四季の家 横浜市青葉区寺家町414	準備中
3月24日 (土)	北海道	アドバイザー 実践者 シンポジウム	札幌 Café tone 札幌市北区北23条西10丁目1-6 (北大斜め通り・東向き)	準備中

天分発見ワークショップ！

SHIEN学の主要コンセプトのひとつ「天分」に迫るワークショップです。

伝説の「天分発見ワークショップ」次回開催は、7月22日(土)@大阪

お問い合わせ、ご参加ご希望の方は、メールでお知らせください。shien@shien-academy.jp

一般社団法人SHIENアカデミー静岡

TEL/FAX 053-434-9776 shien@shien-academy.jp

<http://www.shien-academy.jp>

<https://www.facebook.com/shien.academy>